

和歌山県の地震

令和4年2月

1. 和歌山県の地震活動

| | |
|-------------------------|------------|
| 震央分布図 | ・・・・・・・・ 1 |
| 概況 | ・・・・・・・・ 1 |
| 断面図 | ・・・・・・・・ 2 |
| 和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧 | ・・・・・・・・ 3 |
| 震度分布図 | ・・・・・・・・ 3 |

2. 地震一口メモ

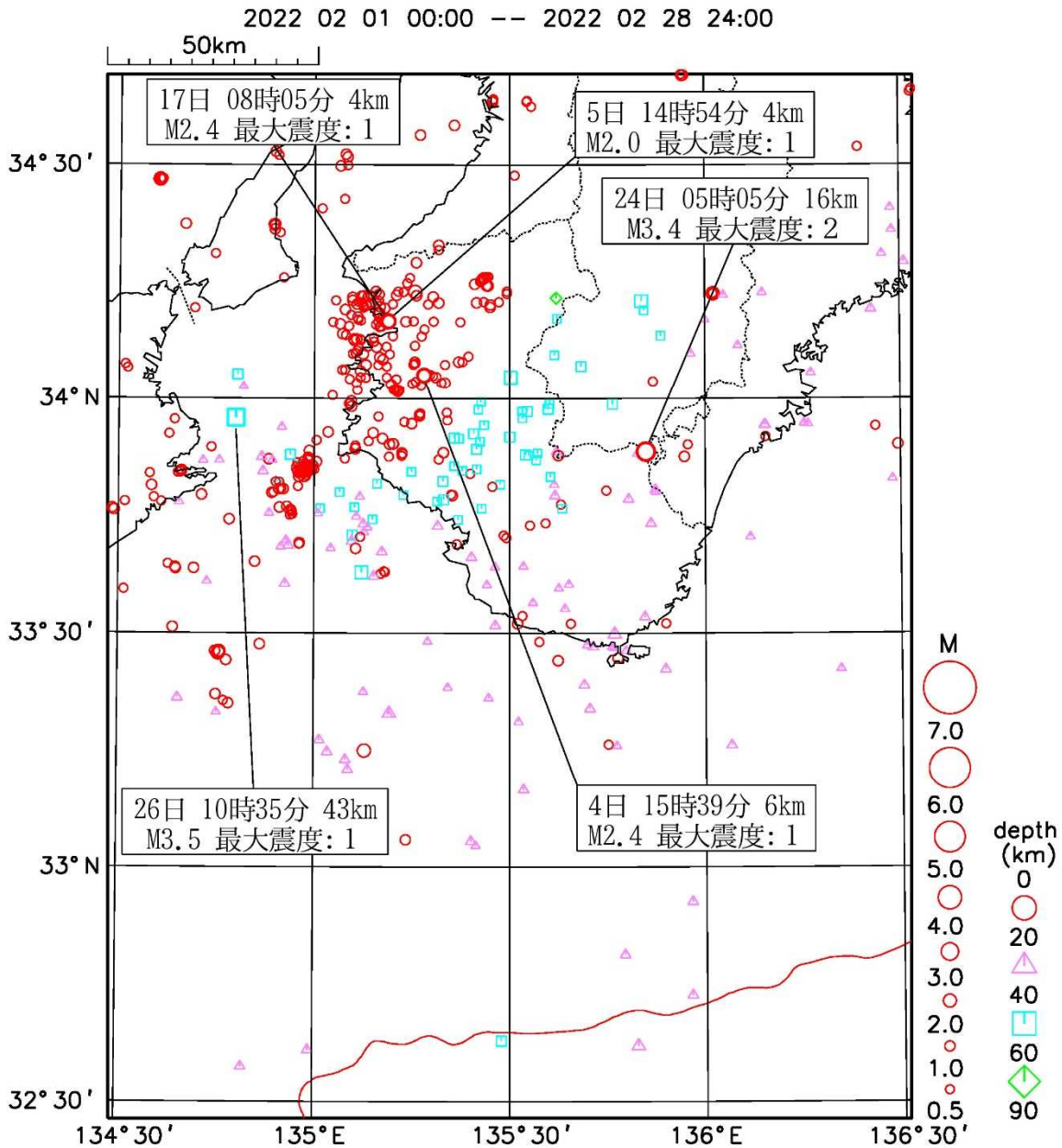
| | |
|-------------|------------|
| 国際的な津波情報の提供 | ・・・・・・・・ 5 |
|-------------|------------|

- * この資料に使われている震源要素（北緯・東経）は、世界測地系に基づいています。
- * この資料の地震の震源要素は暫定値を使用しています。震度データを含めて再調査した後、修正することがあります。
- * 本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。
- * この資料に掲載した地図は、国土地理院の数値地図25000（行政界・海岸線）を使用しています。

和歌山地方気象台

1. 和歌山県の地震活動

【震央分布図】



震央分布図は地震が発生した場所を地図上に描画したものです。

シンボルマークの大きさと地震の規模（マグニチュード）を、シンボルマークの形と色で震源の深さを表しています。また、赤線は海溝軸（南海トラフ）の位置です。

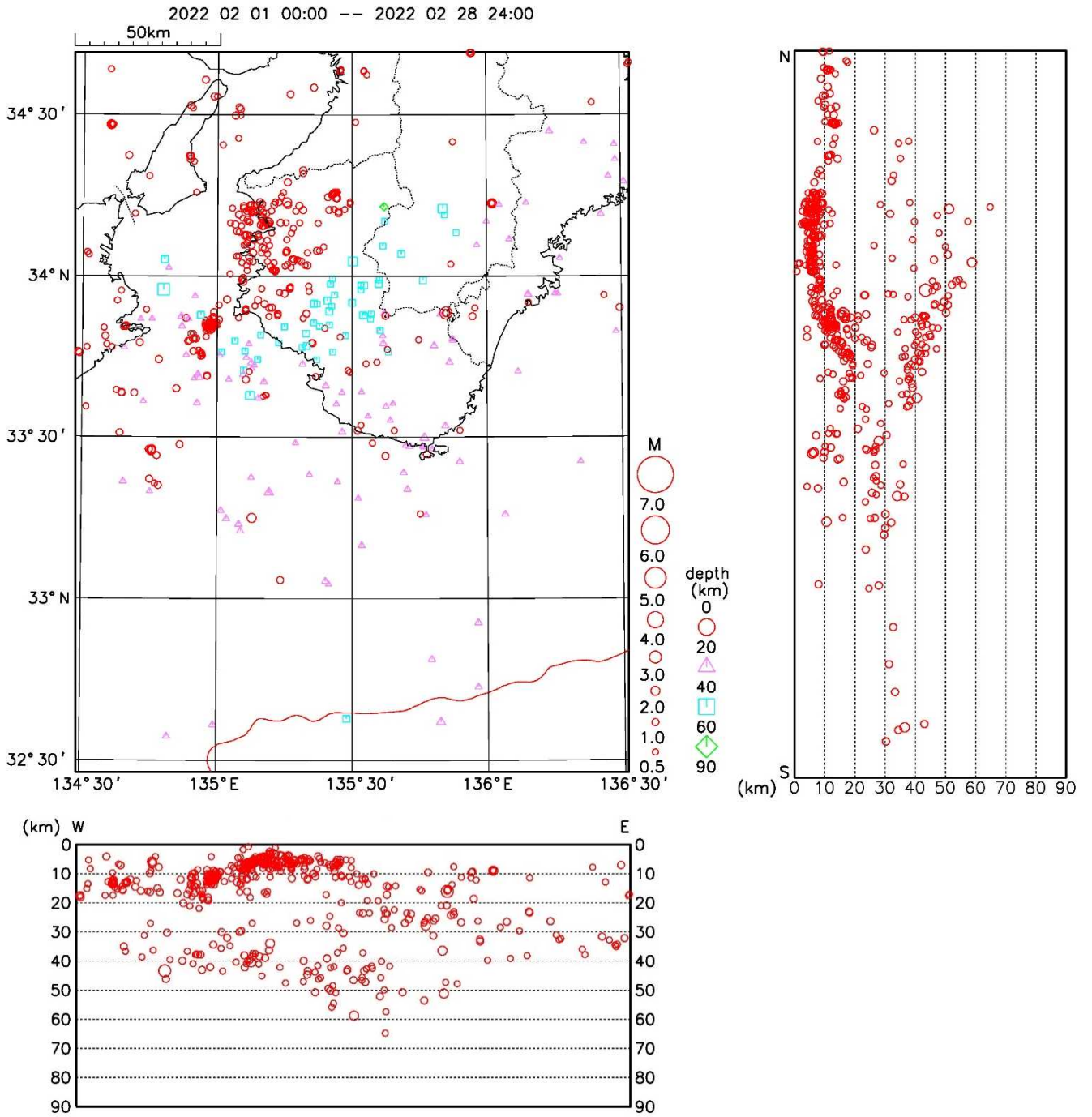
図中の吹き出しは、和歌山県内で震度1以上を観測した地震および震央分布図内で最も規模の大きな地震を示しており、日時、深さ、マグニチュード、最大震度を記載しています（最大震度は、和歌山県内とは限りません）。

【概況】

2月の震央分布図内で震源決定した地震のうち、マグニチュード（M）2.0以上の地震は20回（前月は42回）でした。そのうち最も規模の大きかった地震は、26日10時35分 紀伊水道の地震（深さ43km、M3.5）でした。この地震はフィリピン海プレート内部で発生しました。

2月に和歌山県内で震度1以上を観測した地震は、5回（前月10回）でした。

【 断面図 】



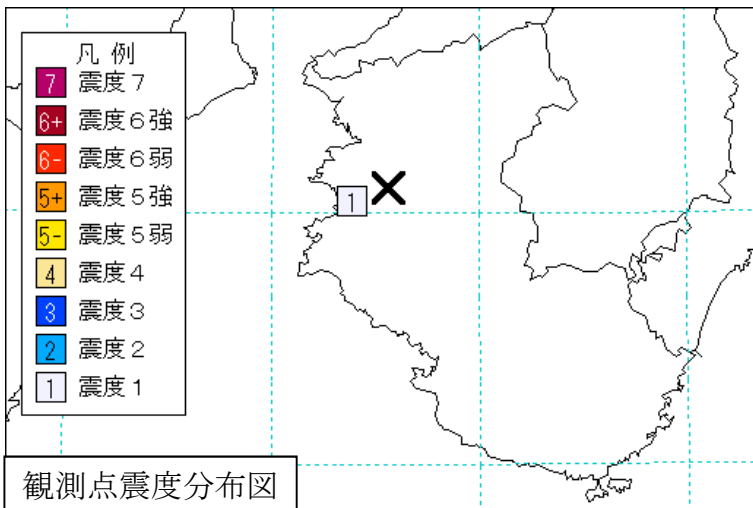
【 和歌山県で震度1以上を観測した地震及び震度一覧 】

| 発震時（年月日時分） | 震央地名 | 緯度 | 経度 | 深さ | マグニチュード |
|---|--------|-------------|--------------|------|---------|
| 各地の震度（和歌山県内のみ掲載） | | | | | |
| 2022年02月04日15時39分 | 和歌山県北部 | 34° 03.0' N | 135° 16.8' E | 6km | M2.4 |
| 和歌山県 震度 1：湯浅町青木* | | | | | |
| 2022年02月05日14時54分 | 和歌山県北部 | 34° 10.0' N | 135° 11.3' E | 4km | M2.0 |
| 和歌山県 震度 1：海南市下津* | | | | | |
| 2022年02月17日08時05分 | 和歌山県北部 | 34° 09.9' N | 135° 11.3' E | 4km | M2.4 |
| 和歌山県 震度 1：海南市下津*, 有田市初島町* | | | | | |
| 2022年02月24日05時05分 | 和歌山県南部 | 33° 53.1' N | 135° 50.9' E | 16km | M3.4 |
| 和歌山県 震度 1：田辺市本宮町本宮* | | | | | |
| 2022年02月26日10時35分 | 紀伊水道 | 33° 57.5' N | 134° 47.9' E | 43km | M3.5 |
| 和歌山県 震度 1：有田市初島町*, 御坊市菌, 湯浅町青木*, 由良町里*, 日高川町土生* | | | | | |

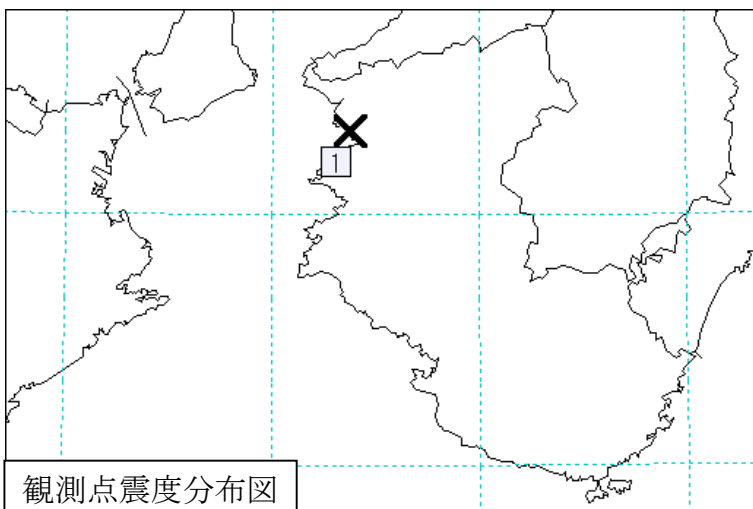
名の最後に*のついている地点は、和歌山県または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

【 震度分布図（図中の×は震央） 】

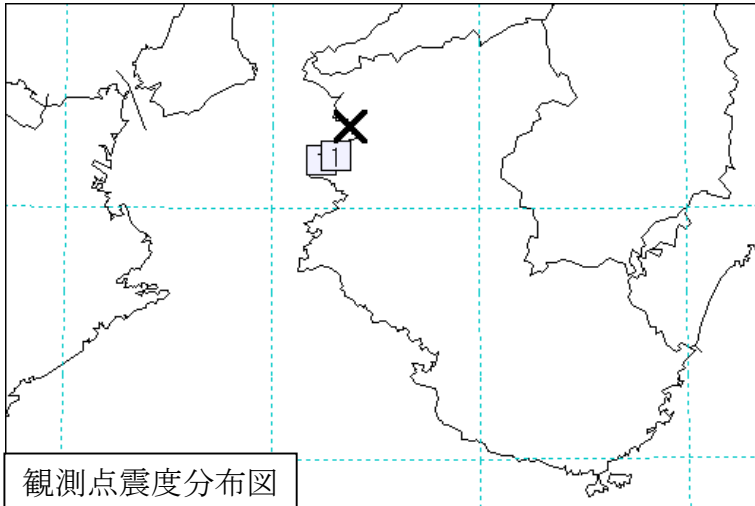
2022年02月04日15時39分 和歌山県北部の地震（深さ6km、M2.4）



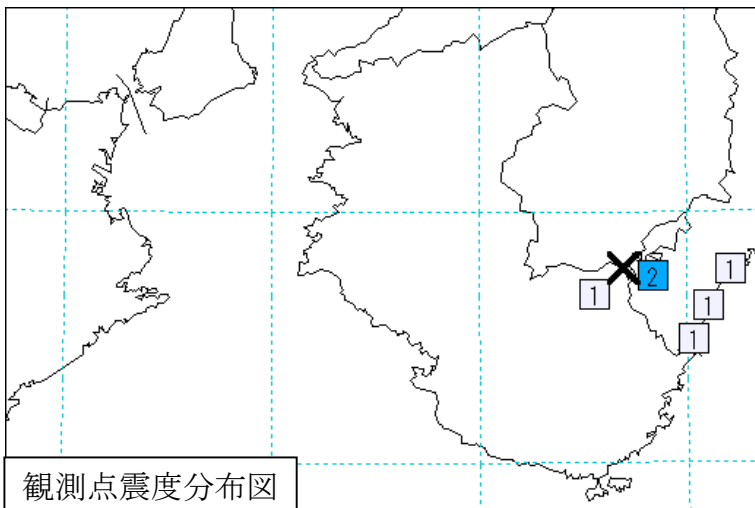
2022年02月05日14時54分 和歌山県北部の地震（深さ4km、M2.0）



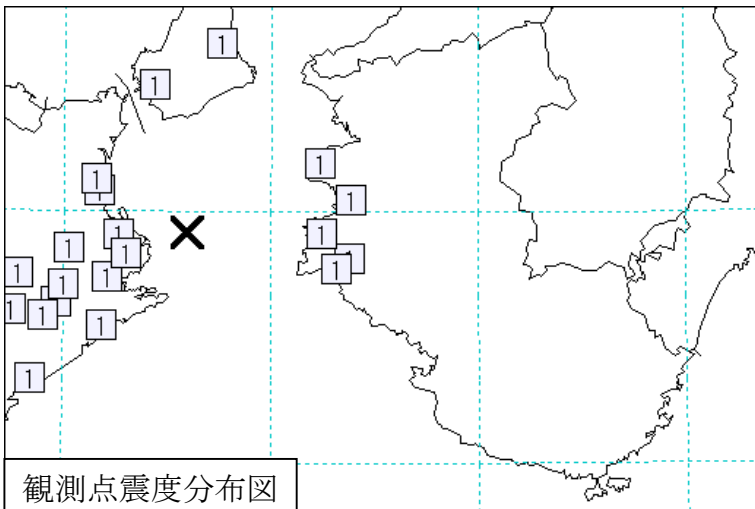
2022年02月17日08時05分 和歌山県北部の地震（深さ4km、M2.4）



2022年02月24日05時05分 和歌山県南部の地震（深さ16km、M3.4）



2022年02月26日10時35分 紀伊水道の地震（深さ43km、M3.5）



2. 地震一口メモ

国際的な津波情報の提供

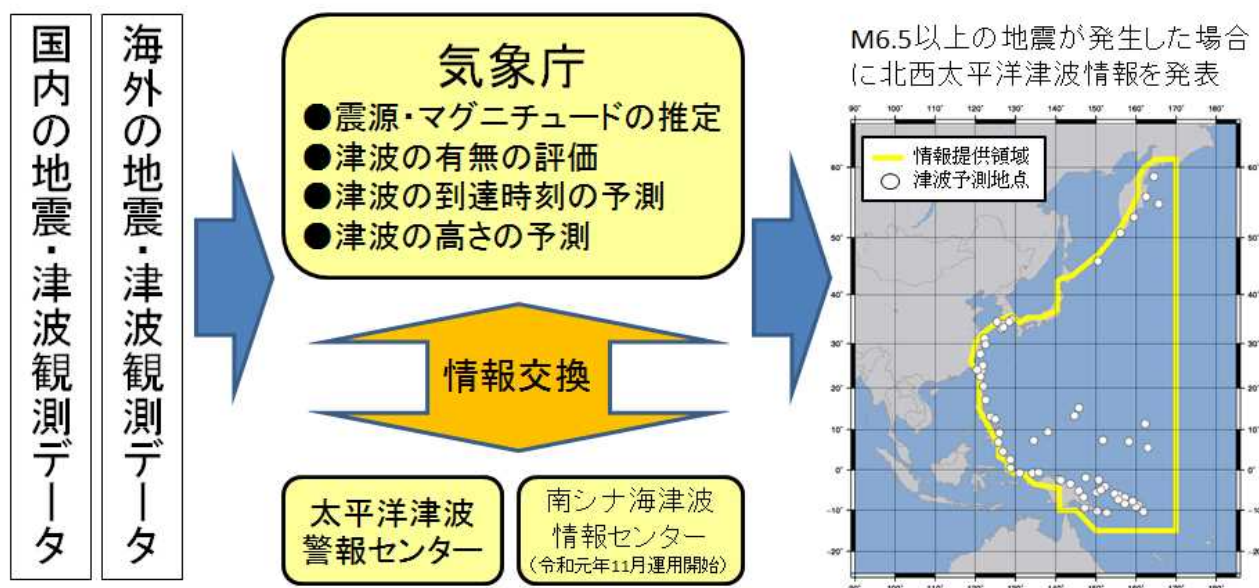
気象庁は、平成17年から北西太平洋津波情報センター(NWPTAC)として北西太平洋域で発生する地震・津波を監視しています。この領域で大きな地震(M6.5以上)が発生した場合に、「北西太平洋津波情報」を関係各国の防災機関へ提供しています。

この情報は、地震の発生時刻、震源、マグニチュード、津波が発生する可能性、津波が発生する可能性がある場合は沿岸地点で予想される津波の到達時刻及び高さ、実際に津波が観測された場合はその観測値もあわせて発表します。

発表された北西太平洋津波情報は、それを受領した関係各国の防災機関が、予想される津波に対する国内への津波警報発表や住民への避難勧告などの緊急津波防災措置を行うために活用されます。

【北西太平洋津波情報の提供先各国】

中国、ミクロネシア、フランス(仏領ポリネシア)、インドネシア、パラオ、パプアニューギニア、フィリピン、韓国、ロシア、ソロモン諸島



図の出典：気象庁ホームページ

※北西太平洋津波情報センターは、国連教育科学文化機関(UNESCO)の政府間海洋学委員会(IOC)の下部組織である「太平洋津波警戒・減災システムのための政府間調整グループ(ICG/PTWS)」のもとで活動しており、太平洋全域の地震・津波の監視および情報提供を行う米国の太平洋津波警報センター(PTWC)と協力して太平洋諸国の津波防災体制に貢献しています。

※気象庁ホームページ(ホーム > 知識・解説 > 国際的な津波監視体制)

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html>